

基本方針	主要施策	令和6年度実施事業等	事業内容
基本方針1 質の高い観光により観光消費額を向上させる			200,854千円
(1) 地域の観光コンテンツのレベルアップを図る	0千円	→	
(2) 近隣地域との連携を深め函館市内の宿泊日数の増加を図る	2,951千円	→ 滞在型観光促進事業(まちあるきマップ等)	2,675千円 函館まちあるきマップの作成・配布, YouTube等を活用し, 滞在型観光を促進するプロモーションを実施
(3) 富裕層の誘客に向けた観光プログラムの造成, 磨き上げを進める	7,597千円	→ 新函館北斗駅広域観光推進協議会	276千円 新函館北斗駅周辺の5市町, 交通事業者等による宣伝誘客・観光振興
(4) 欧米向けプロモーションの強化	3,000千円	→ ラグジュアリーツーリズム推進事業	3,528千円 令和6年度の主な事業 P1
(5) 消費額の高い訪日外国人観光客の誘客	3,000千円	→ 広域周遊観光・AT促進事業	4,069千円 令和6年度の主な事業 P2
(6) 観光消費の機会拡大に向けた適切な情報発信	35,866千円	→ 欧米市場のプロモーション強化	3,000千円 令和6年度の主な事業 P3
(7) 函館観光の利便性を高める取組み	124,502千円	→ イーストジャパン・キャンペーン	3,000千円 令和6年度の主な事業 P4
(8) デジタル技術を函館観光に取り入れる	0千円	→ 観光ポータルサイト「はこぶら」	22,374千円 令和6年度の主な事業 P5
(9) 宿泊日数増加による観光消費額の拡大の取組み	0千円	→ 観光宣伝印刷物等作成経費	10,653千円 観光宣伝販促物(パンフレット, ポスター, 動画)を作成
(10) 北海道新幹線札幌延伸を見据えた広域連携	1,807千円	→ 観光キャンペーン実施経費	2,839千円 雑誌やSNSなどによる広告掲載
(11) 多様なニーズに対応したコンテンツ	16,874千円	→ FREE Wi-Fi整備・運営	2,376千円 外国人観光客の利便性, 満足度の向上を図るため, Wi-Fiを運営管理
(12) MICE誘致	5,257千円	→ 観光産業人材育成	179千円 縄文文化通訳ガイド人材バンクの運営
(13) 誰もが安心して訪れることができる観光地を目指す	0千円	→ AIチャットボット	660千円 インバウンド対応のため, AIチャットボットを運営
		→ 観光施設維持管理(夜景, 駐車場, 観光案内所等)	121,287千円 維持管理経費, オーバーツーリズム対策事業費(令和6年度の主な事業 P6)
		→ DX推進支援事業費【経済】2,500千円	市内中小企業等におけるDXを推進するため, セミナー開催など
		→ 競輪場ツアー造成, ゆったり夜景とヨルメグリ	新たな観光コンテンツの造成, (再掲)オーバーツーリズム対策事業費
		HAKODATE LUMI-POP【経済】13,000千円	冬の大門地区の魅力発信, 夜間の賑わい創出のため, イルミネーションを実施
		→ スポーツ合宿誘致推進事業【教育】3,462千円	市内でスポーツ合宿を実施する市外の実業団・団体へ宿泊人数・宿泊数に応じ助成
		→ 道内中核都市観光連携協議会	1,807千円 道内中核都市6市と連携し, 観光プロモーションを実施
		→ アニメツーリズム関係経費	150千円 (一社)アニメツーリズム協会会費
		→ 名探偵コナン特別イベント	14,000千円 令和6年度の主な事業 P7
		→ グリーン・ツーリズム推進事業費【農水】5,277千円	地域資源を活かした高付加価値・滞在型ツアー商品造成などを実施
		→ フィルムコミッション関係経費	2,724千円 映画, テレビ, CM等の映像作品の誘致・PR, 映画祭開催を支援
		→ コンベンション誘致推進費	2,657千円 令和6年度の主な事業 P8
		→ 各種大会補助金	2,600千円 各種大会へ補助金を支出し, 市内開催を支援
		→ 湯の川地区活性化推進費【土木】224,000千円	湯川地区の道路照明灯やバリアフリー歩道等を整備

基本方針	主要施策	令和6年度実施事業等	事業内容
基本方針2 観光の繁閑差を是正する			127,999千円
(1) 増加する訪日外国人観光客需要の取り込み	36,518千円	→ 海外観光プロモーション(アジア) 22,535千円 → 中国デジタルプロモーション 9,283千円 → 海外観光客誘致促進協議会 4,700千円	令和6年度の主な事業 P9 令和6年度の主な事業 P10 会議所, 観光協会, HAP等と連携し, 海外観光客を誘致する各種事業を実施
(2) 魅力的な秋・冬のイベントやコンテンツの創出	89,539千円	→ 秋季(グルメサーカス, MOMI-G) 27,131千円 → 冬季(クリファン, 冬フェス, 冬の灯り) 62,408千円	令和6年度の主な事業 P11~12
(3) 教育旅行誘致による繁閑差の是正	1,942千円	→ 教育旅行誘致経費 1,942千円	令和6年度の主な事業 P13
基本方針3 函館観光を盛り上げる人を増やす			468千円
(1) 函館市民による観光の取組みへの参画を促進する	0千円	→ フィルムコミッション関係経費 ※再掲 0千円 →	—
(2) 函館市民が函館の魅力を再発見できる環境づくりを進める	468千円	→ 函館への愛を語ろう!「#ハコラブ」 468千円 →	令和6年度の主な事業 P14 ※事業費には観光大使関係経費を含む
(3) 「働きたい場」としての観光関連産業の環境づくり	0千円	→ 雇用労政施策全般【経済】 →	—
基本方針4 観光を通じて函館が潤う地域づくりを進め, 観光への市民理解を促進する			0千円
(1) 観光の重要性の市民理解向上に向けた取組み	0千円	→ 出前講座・学校教育 →	令和6年度の主な事業 P15
(2) 地産地消の推進	0千円	→ 函館農水産物ブランド推進協議会【農水】 350千円 → イカ祭り開催負担金【農水】 300千円	市内外のイベント等において, 函館産農水産物をPR 標記イベントにおいて, 函館産水産物をPR
その他, 観光振興を図っていくうえで必要な取組み			96,709千円
(ア) 各種調査		→ 観光動向調査, 教育旅行調査 5,053千円	観光政策の企画立案のため, 観光客の動向や消費額等の分析・調査を実施
(イ) その他広域連携		→ ひろはこ, 北前船, その他 7,242千円	弘前市などとテーマごとに連携し, 共同で観光プロモーションを実施
(ウ) その他イベント		→ 五稜郭祭, 港まつりなど 35,898千円	観光誘客のための各イベント実施に係る経費を負担
(エ) 関係団体との連携		→ 北海道観光機構, 観光コンベンション協会など 35,590千円	市内外の観光振興団体との連携・支援に要する経費
(オ) その他		→ その他所要経費, 事務所経費 12,926千円	—